

デルフィニウム新品種「なつぞらスピーア」の育成とその特性

加藤直幹・今 満

(青森県産業技術センター 農林総合研究所)

Breeding of Delphinium New Variety “Natsuzora spear” and its Characteristics

Naoki KATO and Mitsuru KON

(Agriculture Research Institute, Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center)

1 はじめに

青森県ではデルフィニウムを振興品目の一つとして位置づけており、当所ではオリジナル品種をシリーズ化し普及を図っている。すでに育成した晩生種「ブルースピアー」に加え、新たに青色花の中生で、関東市場出荷に適するコンパクトな切り花となる品種「なつぞらスピーア」(写真1)を育成したので、その特性等について報告する。

2 育成経過

「なつぞらスピーア」は「クリアスプリングスライイトブルーシェード」の選抜自殖系統に、「ブルーバード」の選抜自殖系統を交雑した一代雑種品種である。平成12年から選抜、育成を開始し、平成20年と平成21年に生産力検定及び現地適応性検定を実施し、有望と認められたことから、平成22年に品種登録出願した。

3 特性の概要

農林水産省「デルフィニウム種苗特性分類調査基準」に基づく主要な形質は以下のとおりである。なお、①～③の特性(表1)は4月下旬に定植したものについてである。

- ①開花期は7月中旬の中生であり、晩生種の「ブルースピアー」より2週間程度早い。
- ②切り花長は100～120cmであり、「ブルースピアー」よりコンパクトである。
- ③花は八重中輪、がく片は外側が鮮紫青色(JHSカラーチャート7605)で、内側が淡紫色(同8603)である。
- ④生産性は4月定植で良品率が高いが、5月、6月定植ではボリュームが不足する(表2)。
- ⑤2番花、越冬栽培は収穫本数、品質に問題が有り適さない(表3、表4)。

以上の特性から早生の市販品種と晩生の「ブルー

スピーア」との中間の開花時期になるため、これらを組み合わせることにより長期継続出荷が可能となる。また本品種は切り花の収量性、品質の面から4月定植1回切りに適する。

県内の市場関係者や小売店へのアンケート調査では、「全体の印象」、「花穂と茎のバランス」、「小花の密度と大きさ」が「ブルースピアー」や市販品種の「ブルーキャンドル」より優れるとの評価を受けた。

4 まとめ

「なつぞらスピーア」は4月定植で7月中旬に開花する中生で、花は八重、がく片は赤味が少ない鮮紫青色であり花穂と全体のバランスが良い。切り花長は関東市場出荷に適する100～120cm程度のものが多い。収量性、品質の面から4月定植1回切りに適する品種であるが、既存の品種とは異なる開花時期を有するため、他品種との組み合わせにより長期継続出荷が可能になる。



写真1 なつぞらスピーアの草姿と小花の形質

表1 「なつぞらスピーア-」の特性

(平成21年 青森農林総研)

形質	育成品種	対照品種
	なつぞらスピーア-	ブルースピーア-
親系統	CSライトブルーシード×ブルーパード	ブルーパード×CSライトブルーシード
早晩性	中生	晩生
開花期	7月中旬	7月下旬
切り花長	高 (111.8cm)	高 (145.0cm)
花穂長	長 (70.8cm)	長 (91.3cm)
小花数	多 (62.5cm)	多 (80.6cm)
小花密度	中	中
花形	八重	八重
花冠の大きさ	中	中
がく片上部の色	鮮紫青(7605)	濃紫青(7606)
がく片基部の色	浅紫(8603)	浅紫(8603)
花卉の大きさ	中	中
花卉の主色	黄白(2701)	黄白(3101)
花卉の二次色	鮮紫青(7605)	濃紫青(7606)

注1) 表記は農林水産省「デルヒニウム種苗特性分類調査基準」による

注2) がく片及び花卉の色は「日本園芸植物標準色票(JHS カラーチャート)」による

注3) CSライトブルーシード: クリアスプリングスライトブルーシード

表2 「なつぞらスピーア-」の定植日と切り花品質

(平成20年 青森農林総研フrawワーセ、平成21年 青森農林総研)

供試品種	は種年月日	定植年月日	採花盛期年月日	切り花長(cm)	花穂長(cm)	葉数(枚)	側枝数(個)	小花数(個)	茎径(mm)	切り花重(g)	下垂度(度)	茎曲がり(%)	茎折れ(%)	良品率(%)
なつぞらスピーア-	H20.2.20	H20.4.28	H20.7.25	111.8	70.8	11.5	1.9	62.5	5.3	96.0	6.6	-	-	44.0
	H21.2.16	H21.4.20	H21.7.16	117.1	68.9	11.7	1.5	56.3	7.2	104.9	1.9	5.0	0.0	67.0
	H21.3.27	H21.5.19	H21.8.7	99.5	56.7	8.7	1.0	36.7	5.3	61.6	1.0	4.9	1.6	68.0
	H21.4.27	H21.6.19	H21.8.25	78.7	43.7	6.1	1.0	24.6	4.0	37.6	1.3	11.3	0.0	1.0
ブルースピーア-	H20.2.20	H20.4.28	H20.8.1	145.0	91.3	-	-	80.6	-	120.4	-	-	-	15.4
	H21.2.16	H21.4.20	H21.7.29	127.2	68.9	14.3	1.5	75.6	8.5	116.2	0.7	1.6	1.6	42.0
	H21.3.27	H21.5.19	H21.8.19	112.0	60.4	10.3	1.3	54.4	6.3	76.0	0.4	20.4	3.5	44.0
	H21.4.27	H21.6.19	H21.9.6	103.4	57.7	8.2	1.6	35.9	5.7	74.9	0.5	5.4	2.1	56.0

注1) 栽植様式: 株間20cm・条間20cm 4条植え

注2) 下垂度: 切り花の基部を持ち、水平に保った際に下がった角度

注3) 良品率: 関東地方の市場で需要の多い調整後の切り花長が100~120cmのもの割合

表3 「なつぞらスピーア-」の2番花の切り花品質

(平成21年 青森農林総研)

供試品種	開花期	切り花長(cm)	花穂長(cm)	葉数(枚)	側枝数(本)	小花数(個)	茎径(mm)	切り花重(g)	調整重(g)	採花株率(%)
なつぞらスピーア-	9月	86.0	48.0	8.8	1.1	27.0	3.6	38.0	23.0	10
ブルースピーア-	9~10月	78.0	33.0	9.5	1.0	17.0	3.5	40.0	21.0	50

注1) 定植日: H21.4.23

注2) 栽植様式: 株間15cm・条間15cm 中1条あけ4条植え

注3) 採花株率: (採花株数/定植株数) × 100

表4 「なつぞらスピーア-」の越冬1番花の切り花品質

(平成21年 青森農林総研)

調査場所	供試品種	調査日(月/日)	切り花長(cm)	花穂長(cm)	葉数(枚)	側枝数(個)	小花数(個)	茎径(mm)	切り花重(g)	花飛び数(個)	花飛び株率(%)
中泊町	なつぞらスピーア-	6/10	142.6	76.5	26.6	0.5	62.0	9.0	93.8	18.2	80
	ブルースピーア-	6/10	172.8	102.3	17.9	2.3	79.3	12.1	166.0	0.3	10
三沢市	なつぞらスピーア-	6/17	124.9	59.8	24.1	0.0	66.4	11.2	118.1	22.9	89
	ブルースピーア-	6/17	153.9	77.4	17.3	3.0	77.6	12.1	136.1	0.8	10

注1) 栽植様式: 中泊町 株間20cm・条間20cm 3条植え 三沢市 株間・条間20cm 4条植え

注2) 定植日: 中泊町 H20.4.25 三沢市 H20.4.24

注3) 調査日は開花盛期。ただし三沢市のなつぞらスピーア-については開花始期